

風しん抗体検査 風しん予防接種



市では、先天性風しん症候群への予防対策として、クーポン券などを利用して、無料の風しん抗体検査と風しん予防接種の費用を助成します。

風しん抗体検査・風しん予防接種対象の方

- ① 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性
- ② 妊娠を予定か希望する女性(市内在住で19歳以上の方)
- ③ 妊婦の同居者(市内在住で19歳以上の方)
- ④ 妊娠を予定か希望する女性の同居者(市内在住で19歳以上の方)

「特定健康診査」(無料)を受けましょう!

市では、国民健康保険に加入している40歳以上74歳以下の方を対象に、メタボリックシンドロームの予防と改善を目的にした「特定健康診査」を実施します。生活習慣病の予防と早期発見のために、「特定健診」を受診しましょう。

対象の方には、5月下旬に受診券と利用の手引きなどを送付します(後期高齢者医療制度に加入している方は、6月下旬に受診券を送付します)。

ンを含む)を2回以上接種している方と当予防接種事業ですでに接種している方を除きます。

クーポン券配付など

- ①の方(昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性)：抗体検査・風しん予防接種を受けることができるクーポン券を5月下旬に送付します。
- ※昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性で希望される方は、お問い合わせください。
- ※②から④までの方：健康課で配布している申込用紙(市ホームページからダウンロードできます)に必要事項の記入の上、送付するか直接窓口で申し込み、受診券の交付を受けてください。

風しん抗体検査

風しん抗体検査・風しん予防接種対象の方は、無料で抗体検査を受けることができます。詳しくは、クーポン券、もし

風しん抗体検査の対象の方(昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性)は、特定健診と同時に抗体検査を受けることができます。

▽健診期間 6月1日(土)～9月30日(月)

※9月は混み合いますので、早めにご受診しましょう。

▽対象 あきる野市国民健康保険に加入している40歳以上74歳以下の方(昭和55年3月31日以前生まれで、健診日現在74歳以下の方)

▽費用 無料

▽問合せ 健康課健康づくり係(直通558・1183)

風しん予防接種

くは受診券に同封されているお知らせをご覧いただき、お問い合わせください。

風しん抗体検査で低抗体者であると判明し、接種を受ける場合、①の方は無料、②から④までの方は予防接種費用の一部を助成します。

※詳しくは、クーポン券、もしくは助成券に同封されているお知らせをご覧ください。お問い合わせください。

▽風しん予防接種の助成額

- *①の方：全額
- *②から④までの方：風しんワクチン：3千円
- *麻しん風しん混合ワクチン：5千円

▽接種期間

令和2年3月31日まで

※生活保護受給者と中国残留邦人等支援給付受給者の方は、全額免除になりますので、受給者証明書を接種時に医療機関へ提出してください。

▽問合せ

健康課予防推進係(直通558・1191)

高齢者 げんき応援事業

65歳以上の方を対象とした事業です。詳しくは、お問い合わせください。

開ロセンター

(☎550・2755)

- ▽ハーダンガー刺繍(しじま)
- 日時：毎月第2・第4火曜日 午前10時～正午
- 講師：古口あき子さん
- 定員：10人(申込み順)
- 費用：1回千円(材料費別)

萩野センター

(☎550・2722)

- ▽パッチワークのポーチ
- 日時：6月3日・10日・17日の月曜日 午前10時～正午
- 講師 佐々木英子さん
- 定員：5人(申込み順)
- 持ち物：裁縫道具、ものさし、筆記用具
- 費用：初回一括1800円(材料費別)
- ▽3種の手作りストラップ
- 日時：6月から8月までの毎月

老後の年金額が増やせます 「付加年金」

毎月の国民年金保険料に付加保険料(月額400円)を加えて納めると、老齢基礎年金に「付加年金」が上乗せされます。

付加保険料は、申込み月から納めることができます。

▽対象 国民年金第1号被保険者、任意加入被保険者(保険料の免除などを受けている方、国民年金基金に加入され

ている方を除く)

▽持ち物 マイナンバーが分かるもの、年金手帳、はんこ、運転免許証など本人確認ができるもの

▽申込み・問合せ 保険年金課(窓口係(申込みのみ)、青梅年金事務所(☎0428・30・3410))

月第1水曜日 午前10時～正午

- 講師：高橋久美子さん
- 定員：5人(申込み順)
- 持ち物：裁縫道具、筆記用具
- 費用：1回800円(材料費込み)

五日市センター

(☎533・0330)

- ▽中条かおる一座 歌謡曲、芸者踊りなど
- 日時：5月31日(金) 午後1時30分～3時
- 講師：中条かおる一座
- 定員：30人(申込み順)
- 費用：500円(お茶菓子付)

障がい者スポーツ教室

有無は問いません

▽あきる野わくわくパーク 日時：6月16日(日) 午後1時15分～2時30分

▽ポッチャ教室

日時：6月2日、7月7日、9月1日の日曜日 午前10時～11時30分

●場所：都立あきる野学園体育館

- 対象：小学生以上(障がいの有無は問いません)
- 障がい者スポーツ体験教室 様々な種目を体験します。
- 日時：6月2日、7月7日、9月1日の日曜日 午後1時30分～3時
- 場所：都立あきる野学園体育館
- 対象：小学生以上(障がいの有無は問いません)

▽申込み・問合せ アスポルト事務局(☎595・5190)

森林レンジャーがゆく

宝探し

(90)



あきる野市版のレッドリスト(ほ乳類、両生類、は虫類)を公開しています。環境省や東京都のレッドリスト・レッドデータブックの指定種などの内容とは異なる部分があり、これまでは「珍しい」とされていなかった生き物が高いランクで絶滅危惧種に指定されています。また、現在それほど珍しくはないが、昔に比べて大幅に数が減ってしまった種類が多い印象を受けています。

両生類が減っている地域は多く、あきる野市も例外ではありません。「昔、トウキョウサンショウウオはたくさんいて、よく道路上でひかれていた」という話を何回か聞いたことがあります。現在は、主に産卵場所が少ないことや天敵が多いことから激減してしまい、多くの両生類が絶滅しています。その中で、土地利用の変化やアライグマなどの外来種の影響は最も目立つ原因です。

市のレッドリストでは、ニホンアカガエルという昔の田んぼや湿地でよく見かけた地味なカエルが「絶滅の恐れが最も高いランク」に指定されました。市内で見られるのはわずかで、もう一つ下のランクで、トウキョウサンショウウオやアカハライモリ、トウキョウダルマガエル、ツチガエルが指定されました。その他の種類も、なんらかのランクに指定され、市に生息する全



ニホンアカガエル。市内でよく見られるヤマアカガエルにとても似ていますが、背側線がほとんど折れていないことで識別できます。もし見かけたら、決して持ち帰らず、見守ってあげてください。

ての在来両生類(全14種)が減少などの理由で、レッドリスト入りとなってしまいました。

両生類の絶滅を防ぎ守っていくため、多くの方が力を尽くして生息環境をつくり、外来種を捕獲している状況です。

素晴らしい自然が残っているこのあきる野でも、見つけにくくなっている生き物が増えているので、本物の宝探しのように感じ始めています。「宝」がなくならないためには、みんなの関心が必要です。昔の当たり前が、現在の珍しいになるということは、現在の当たり前もいつかは珍しくなるかもしれません。今から大切にしましょう。(パプロ)